

# 鉾屋町 町内会だより

6月27日  
三面地蔵尊

鉾屋町の下町のあたりを歩いていると、旗が立っているのに出会いました。  
「三面地蔵尊」



場所と名前は知っていました  
が、そういえばこちらに越して  
きてからは、拜んだことがな  
かった気がします。  
入ってみると、綺麗に整えら  
れた堂宇の中に、お地蔵さんが  
おられました。ここの由来が書  
かれた紙や、盛岡タイムズの記  
事のコピーもあり、ありがたく  
いただきました。

読んでみると、建立されたのが昭和4年6月27日、今日がそのお祭りの日だったのでした。

### 三面地蔵尊見聞記

三面地蔵尊は昭和四年六月二十七日に建立されたがその謂れは、現在地に居住せし鳥居巴之八さん、土地の所有者藤村仁太郎さん共に故人、ある夜地蔵尊が夢枕に立たれ「自分は永年土中に埋もれて居るが世の人々の守護のため現世に出して欲しい」とのお告げに、有志の人達が談合、現在地に祭祀する事になり調査の結果、十和田山に三面地蔵尊が祀られているとの事で、八幡町の石仏師が現地を模写して参り精魂こめて製作、是を町内の子供たちが紅白の曳き綱で現在地に運び、此の日六月二十七日開眼祭典を盛大に催しました。因みに三面地蔵尊は往時その辺りに居住せし武人の守り本尊だったらしく、戦火の為武人の消息も不明、地蔵尊も戦いの喧嘩に紛れ誰も顧みる者もなきまま土中に埋もれてしまつたものと思われます。

◆以上筆者の記憶から◆

(注) 「往時」 幕末の頃と思われる  
「戦火」 明治元年の秋田戦争と思われる

後でご近所の方から聞いたところによると、普段なら直会などでお祝いをするのですが、今年には密を避けるため、個々にお参りしようとなったそうです。  
なぜお顔が三つあるのかについては、「子供を守る」「火から守る」「水から守る」の3つの意味があ

るといふ説や、「多くの方向を見て、多くを救う」などの話もありましたが、正確なところは分かりませんでした。



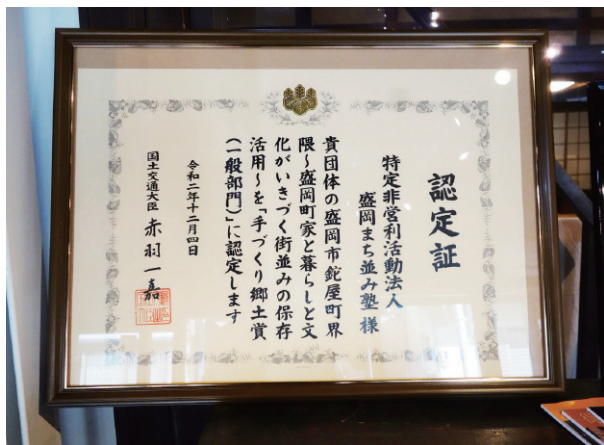
土中に埋もれた地蔵尊が枕元に立って、守護のため現世に出してほしい、と告げられたことから、祭祀されることになったのですが、ご本体は今でもどこかに埋まっているのでしょうか、気になります。



## まち並み塾 手づくり郷土賞受賞

NPO法人盛岡まち並み塾が、国土交通省の手づくり郷土賞(二般部門)を受賞し、授賞式が5月27日に行われました。

国の授賞式というと、東京に行つて大きい建物でやるのかと思いがちですが、この賞はその趣旨を生かして、受賞者の地元まで出張して行うのだそうです。私は仕事のため出席できなかったのですが、後日その結果を見せていただきました。認定証。





受賞記念の盾。



副賞(?)に受賞名入り暖簾。



まち並み塾は、平成15年に活動を始め、今年で18年が経ちました。この間様々な出来事がありました。今後とも宜しくお願いたします。

### 新山河岸、もりおか港 開港祭



北上川に整備された舟着場、明治橋上流「新山河岸」と開運橋上流「もりおか港」の開港祭と、それに関連したイベントが6月19日に行われました。盛岡地区かわまちづくり「舟運」実行委員会(構成団体北上川に舟つ子を運航する盛岡の会、盛岡市、国土交通省岩手河川事務所・北上川ダム総合管理事務所)の主催によるものです。

盛岡地区かわまちづくりの趣旨の中には、駅前から明治橋方面に人を運ぶことで、鉤屋町・大慈寺地区のまちづくり役に役立つというものもあり、これらぜひ取材と応援をせねばと馳せ参じました。

もりおか港の会場で、盛岡市長ら来賓の方々、関係者一同による神事が行われ、舟と港の安全が祈られます。



「もりおか丸」の第1便が出港します。舟は一旦、旭橋をくぐって材木町の石組を眺めた後、明治橋へと向かいます。



陸路で追いかけて、新山河岸へ。上流からくる舟が見えてきました。明治橋の前で大きくUターンして港に着けます。







降りた後は、御蔵下町資料館の企画展示や、



無事到着。乗客はここで下船し、舟だけがもりおか港に戻ります。



ボンネットバスも乗車できま  
す、といった趣向だそうです。



風の広場で行われている神子  
田朝市移動販売へどうぞ、



材木町渡し舟です。ロープを  
伝って人力で対岸まで渡ります。



もりおか丸のチケットは前売  
りの段階で即完売、そこで人気  
だったのが国土交通省さんのゴ  
ムボート体験学習周遊と、

私は部屋が本だらけなので、なるべく増やさないようにしているのですが、本屋、特に古本屋での書籍との出会いは一期一会なので、つい買ってしまいます。今回も2冊増えました。



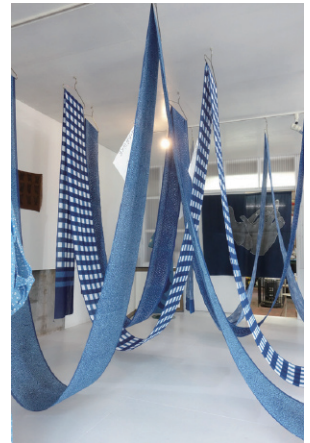
6月26と27日に、もりおか町家物語館 浜藤ホールで「浜藤古本市」が開かれました。もう8回目になるのですね。

### 浜藤古本市

心配された天気も、ほんの少し小雨が降っただけで最後まで持ちました。今後は、どこまで定期的な運航ができるか、が問題になってくるのではないかと思います。



### 正藍の型染展



2回目となる佐々木龍大さんの個展「正藍の型染展」に伺ってきました。

今回は技法、技術的な話もお聞きできて興味深かったです。

藍の染液は発酵で作られますが、この発酵を行う微生物は2種類で、いずれも嫌気性、好アロカリ性だそうです。ただし発酵の過程でどう染液が作られるかは、未だに解明されていないところがあるとか。

生地に糊を塗る「型」も見せていただきました。



この小さな型で一反に塗るので、龍大さんはさらつと説明していました。どう考えても大変そうな作業に思えます。模様はずれないようにするだけでも、ものすごく気を使いそう。



更にこの型紙を切り取るのも、専用の刃物を自分で製作しているというのですから、職人恐るべしです。



この方の仕事は、もつと評価されて良いのではないかと、常々思っております。

### 朝顔日記 1

編集後記に代えて

盛岡まち並み塾が主催する「あき顔プロジェクト」に、今年から我が家も参加することになりました。

町家サロンピッピさんからポットに入った苗が届き、



まち並み塾からプランター2つが届きました。これらはフェンス沿いに並べることに。支柱はピッピの吉田政弘さんが立ててくださいました。



作業中の写真を撮ろうと思っていたのですが、気がついた時にはもうできていました。仕事早いです。



ポット苗は隣家壁際に並べて植えることに。境界線をはみ出しそうなので、隣を管理している寿広さんに承諾を得ました。

こちらの支柱は自分たちで。いろいろ試行錯誤して、なんとか形にはなったかなと。

朝顔を育てるなんて、小学校1年生以来です。あと、種から育てるものだと思いきんでいたので、苗が来るまでが長かった気がします。(桂)